

晃の園だより

尊厳を守り、ゆとりある生活を共に作る



春が訪れようとしています。ここ富沢でも開花し始める桜の木が日に日に増えていきます。他より一足早く花を咲かせ始めた清響棟の裏では、すでにかかなりの数の花が咲き、バルコニーに出ればすぐ手の届くような近さで、ほぼ満開になった桜の花を愛でることも出来るようになりました。

先月、東日本を襲った大きな災いは、現地だけでなく、遠く離れた地で生活する私たちの心の中にも大きな爪痕を残しました。大変な状況に置かれた被災地の方々に想い、心を痛めると共に、そんな人々を支えられるのは、今、普通の生活を続けられている私たちを置いて他にはないのだという事実を、ひしひしと感じずにはられません。

例年と変わらず、桜の花を見上げることができていることに、今は素直に感謝したいと思います。

謹んで震災のお見舞い申し上げます

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

震災の当日、晃の園では若干の揺れを感じた程度で、人や建物にも特別な影響はありませんでした。今私たちが、普段と変わらない生活を送れていることの幸せを感じると共に、大変な状況に置かれた被災地の方々に少しでも支援したい気持ちをカタチにしたいと思いました。社会福祉法人駿河会から100万円、そして職員や入居者様、その他関係者の方々から集まった個人的な募金（総額356,000円）とを併せ、義援金として各種団体を通じて送らせていただきました。

被災された皆様が少しでも早く普段の生活を取り戻せるよう、心からお祈り申し上げます。

特別養護老人ホーム晃の園 園長 芳澤ひろ子 他職員一同

普段の生活の中で



春になってあちこちのユニットで園芸活動が活発になってきました。天気の良い日には、入居者様と職員の協同作業でプランター作りが行われる光景もよく目にします。慣れ親しんだ作業に携わる入居者様の表情はとても生き活きとしていました。



こちらでは花壇の手入れ作業が進行中です。慣れた手つきで次から次へと雑草を抜いてくださっています。吹く風は少し冷たいけど、暖かな陽射しの降り注ぐ中、お二人の影がゆらゆらと花壇の上に揺れていました。



御近所の方が、庭の木に生った夏みかんを『うちでは食べきれないから』と沢山持ってきてくださいました。

『いい匂いがするねえ』花見に出てきていた人達が夏みかんを手に取り、香りを楽しんでいました。御馳走様です。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは
☎ 054-270-1210
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>
Eメール hikarinosono@surugakai.net

清沢小学校からの車椅子寄贈

子供たちからの贈り物

今年も梅の花の咲く季節に、地元清沢小学校の子供たちが車椅子をプレゼントしてくれました。アルミ缶などの資源ゴミを一年間集めてお金に換え、購入した車椅子を園に寄贈してくれるこの企画は、今年で7回目を迎えました。



学校の代表として園に来てくれたのは5年生と6年生の12人。例年どおり子供たちの主導で車椅子贈呈の式典を開催してくれました。子供たちの代表が司会進行を務め贈呈式は進行します。そして、ぴかぴかの車椅子は無事に入居者様代表の方の手に渡りました。子供たちの元気な姿と確かな優しさに触れ、集まった入居者様たちを心地よい緊張感が包んでくれた寄贈式典でした。



一緒に力を併せてプランター作り

式典の後には、子供たちと入居者様が協同して、花のプランター作りを行いました。『土いじりなら任せなさい!』とばかりに、元気に子供たちに指導を始める入居者様の姿も見られました。



プランターが無事完成した後は、子供たちが用意してくれたカルタを使って遊びの時間となりました。子供たちが札を読み上げると、入居者様は真剣な表情で札を探して手を伸ばしていました。入居者様に札を譲ってくれる子供の姿も見られ、あたたかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごしました。

毎年少しずつ増えていく子供たちから送られた車椅子を、元気な子供たちの思い出と共に、これからも大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



アコーディオン演奏に歌声を乗せて

アコーディオンの演奏に合わせて唄を楽しむ会が、ボランティアの方にご協力いただき開催されました。あまり生演奏で聞く機会のないアコーディオンの音色は、新鮮でいて懐かしくもあります。また奏者の手により躍動するアコーディオンの姿は、まるで深い呼吸を繰り返す生き物のようで、その様子もまた入居者様の目を楽しませてくれました。

普段と違う雰囲気の伴奏を得て口ずさむ唄は、いつもの唄だけれどもいつもとはちょっと違う唄になりました。



ラーメン美味しい！ラーメン大好き！

ラーメン屋さんふたび、へい！らっしゃい！！

ユニットで、広場で。厨房の職員さんに出張してもらい、目の前で調理してもらったラーメンを食す企画が大人気です。棟棟では広場をラーメン屋風にしつらえて、入居者様をもてなすラーメン屋さん企画が早2度目の登場となりました。のれんなどの小道具をそのまま再利用できたこともあって、2度目の今回は職員さんも少し余裕が持った様子でした。



そんな余裕を自信に変えて、ちょっとした企画を定番にしていく。こんな定番企画がいくつかあるだけで、園での生活はぐっと楽しくなりそうです。さて、次は何を楽しみましょうか…。



地上デジタル放送への対応が完了しました

今年7月に地上アナログ放送が終了するのを受けて、園内共用部にあるテレビ設備の入替を実施しました。昨年春と今回の二回に別けて実施された入替で、30台以上の共用テレビが地上デジタル放送対応テレビへと置き換えられたこととなります。

毎日の生活の中で、必要な情報を得たり、楽しみを提供してくれる道具として、これらかも活躍してくれることでしょう。

福祉用具の導入に向けて 生活動線をトータルに見直す

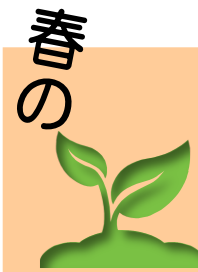
入居者様と職員、双方の安全・安心・快適を目的とした福祉用具導入の準備が進んでいます。新たに導入が予定される移乗用リフトも『この場所にはこんなカタチで』『ここならこういう風に』と具体的な話が進みつつあります。また場所によっては、リフトの導入ではなく、例えば浴室の扉の改造などを検討するなど、視野を広く持ち柔軟な計画を心がけるようにしています。

福祉用具の導入自体が目的となってしまうまいよう、毎日の生活動線をトータルに見直し、そのうえで必要なモノを見極めていきたいと思っております。



動線の現状を再確認し、本当に必要な設備や改造を検討しています

新人職員



4月から一緒に働く仲間です。さわやかな春の陽気の下、新しいスタートに胸をときめかせる彼らの今後の活躍に期待せずにはられません。宜しくお願いします。